（金融商品の時価等の開示に関する注記関係）

⑴　金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定している。

資金運用に当たっては国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、公債、投資適格以上の社債を保有している。なお、当該運用資産は、金利の変動による市場リスクや信用リスク等を包含しているが、資金運用規程に基づき適切なリスク管理を実施し、資金の運用状況や管理運用業務の実施状況を監視するために設置された資金運用委員会に報告している。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりである。なお、市場価格のない株式等は、次表には含めていない。また、現金は注記を省略しており、預金、未収入金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略している。減価償却引当特定資産は預金で構成されるため、預金と同様に注記を省略している。

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差　額
⑴　有価証券及び投資有価証券 満期保有目的の債券	1,954,661千円	1,810,390千円	△144,271千円
⑵　リース債務	(110,555千円)	(101,363千円)	(△9,191千円)
⑶　ＰＦＩ債務	(823,258千円)	(674,615千円)	(△148,643千円)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示している。

（注１）　市場価格のない株式等は次のとおりである。

区　分	貸借対照表計上額
非上場株式	7,360,602千円

（注２）　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類している。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類している。

有価証券及び投資有価証券

国債、地方債及び社債は相場価格を用いて評価している。これらは活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類している。

リース債務及びＰＦＩ債務

これらの時価は、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類している。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

⑴　当該資産除去債務の概要

当法人は、賃貸借契約に伴う原状回復の見積額について資産除去債務を計上している。

⑵　支出発生までの見込期間、適用した割引率等の前提条件

使用見込期間は賃貸借期間、割引率は財務省国債金利情報を基に0.522％を採用している。

⑶　当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	15,768千円
時の経過による調整額	―
期末残高	15,768千円

（賃貸等不動産の時価等の開示に関する注記関係）

当法人は御器所地区に寄宿舎等を有している。これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりである。

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
2,586,275千円	△54,001千円	2,532,273千円	3,135,648千円

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額である。

（注２）　当期増減額の内訳は次のとおりである。

取得等による増加（国際学生寮）	4,593千円
減価償却等による減少（学生寄宿舎等）	58,595千円

（注３）　当期末の時価は、主として適切に市場価格を反映していると考えられる指標に基づく金額、償却資産については、適正な帳簿価額によっている。

また、賃貸等不動産に関する当事業年度における収益及び費用等の状況は次のとおりである。

賃貸収益	賃貸費用	その他 （売却損益等）
51,012千円	112,694千円 (20,712千円)	―

㈱　減価償却相当額については、内数として（　）内に記載している。

（重要な債務負担行為）

件　名	契約額	うち翌期以降の支払額
教育用電子計算機システム　一式	197,556千円	197,556千円
名古屋工業大学キャンパス情報ネットワーク　一式	209,470千円	209,470千円
名古屋工業大学（御器所）56号館空調・実験冷却水系統チラー等更新工事	69,850千円	69,850千円